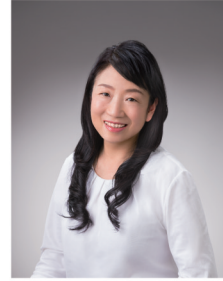


有限会社ハグクリエーション社長 歯科衛生士 第2種滅菌技士 口腔科学修士 柏井 伸子 先生



- 【略 歴】
- 1979年 東京都歯科医師会付属歯科衛生士学校卒業
 - 1988年 プローネマルクシステムサージカルアシスタントコース修了
 - 2003年 インプラント学会認定 専門歯科衛生士
 - 2004年 有限会社ハグクリエーション設立
 - 2005年 日本歯科大学新潟短期大学非常勤講師
 - 2006年 日本医療器械学会認定 第二種滅菌技士
 - 2007年 東北大学大学院歯学研究科修士課程口腔生物学講座入学 感染管理専攻
 - 日本口腔インプラント学会認定 専門歯科衛生士
 - 2009年 日本口腔インプラント学会専門歯科衛生士委員会委員
 - 日本歯科大学東京短期大学非常勤講師
 - 2011年 東北大学大学院歯学研究科修士課程口腔生物学講座卒業 口腔科学修士
 - 2013年 東北大学大学院歯学研究科修士課程口腔生物学講座入学
 - 2015年 ミニメにて3か月間臨床研究
 - 2016年 アメリカ心臓協会認定ヘルスケアアドバイザー
 - 2017年 上記更新
 - 2019年 厚生労働省委託・日本歯科衛生士会主催 研修指導者・臨床実地指導者講習会修了
 - 2020年 WHO Confirmation of Participation Infection Prevention and Control (IPC) for Novel Coronavirus (COVID-19)修了

- 【著 書】
- 『歯科衛生士』『インプラントがわかる全』、『続インプラントがわかる全 4回』、『Q&Aで理解しよう!歯科医の感染管理対策全 3回』、『図解 みるみる理解できるスタッフ向けインプラント入門』(共著)、『歯科医の感染管理 常識非常識』(共著)、『The 儲める歯科衛生士』(共著)、『歯科治療中のやさしいこぼれ』(共著)以上クインテッセンス出版
 - 『歯界展望』「まずはここから!歯科医にける感染管理全 7回」 医歯薬出版
 - 『産科とご存知!歯科衛生士編』財団法人 口腔保健協会
 - 『よくわかる歯科医の消毒滅菌管理マニュアル』インターアクション株式会社
 - 『書き込み式 歯科衛生士のためのインプラントのきほん』(共著) 株式会社デンタルダイヤモンド社
 - 『書き込み式 歯科衛生士のための感染管理のきほん』(共著) 株式会社デンタルダイヤモンド社
 - 『チームで取り組む インプラント周囲組織の診査・診断・対応法』(共著)インターアクション株式会社
 - 『世界標準のインプラントメンテナンス』(共著)株式会社デンタルダイヤモンド社
- 【賞 罰】
- 第50回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会歯科衛生士優秀発表賞 受賞
 - 【所属学会】
 - 日本歯科衛生士会 日本口腔インプラント学会 日本歯周病学会 日本口腔感染症学会 日本医療機器学会 日本環境感染学会 日本手術医学会 European Association for Osseointegration Active Member

年のはじめに考えたい「感染予防の必要性」

はじめに
 新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大し、WHO(World Health Organization 世界保健機関)が「パンデミック宣言」をした2020年から新たな年となりました。このパンデミックの原因とされるのは、SARS-CoV2と命名されたウイルスで、ウイルスによる疾患としては肝炎をイメージなさる方も多いことでしょう。では、ウイルスは「生物」でしょうか?生物であるためには、①代謝すること、②細胞膜で仕切られていること、③自己複製能があることという条件があります。ウイルスはなんらかの細胞に寄生し増殖するため、自ら代謝することはできません。また、細胞膜ではなく「カプシド」と呼ばれる蛋白質で囲まれており、その外側に「エンVELOP」という脂質の膜を有するものとそうでないものがあります。今回問題となっているSARS-CoV2は、さらに厄介なことには、一番外側にスパイクという蛋白質でできたトゲが飛び出しています。このスパイクが私たちの粘膜に引っかかり、細胞内に侵入し増殖していきます。ということから、「ウイルスは生物のように生物でない」という、人間にとっては非常に微妙な存在となつています。なぜウイルスを構成する物質をご紹介したかということ、この蛋白質や脂質に対してアタックすることが対策につながるからです。私たちは戦つ相手かどのような特徴を持っているのかを知ることが、必然的に対応方法が見えてきます。蛋白質は加熱したりアルコールを作用させることで凝固・変性させることができ、脂質に対しては界面活性剤を用いて乳化・分解させることができるので、これらの作用を活かしてユニット周りの環境を整え、使用済み器材は蛋白質分解酵素入り洗剤で洗浄し滅菌します。では、具体的にはどのような対処が必要でしょうか?感染源となる病原微生物がどこに存在するのかということ、唾液・血液・組織片等の汚染物に存在します。飛沫感染であれば唾液の小さな粒と一緒に口腔内から口腔外へ飛び出していきますので、ゴーグル・マスク・グローブ・キャップ・エプロン等の個人防護具を使用します(写真1)。飛沫発生を最小限に抑えるためにはバキュームテクニックを習得し、さらに口腔外への拡散防止には口腔外バキュームを活用しましょう。

患者さんがお帰りになると、ユニット周囲の汚染物を拭き取りますが、その際にはコスト管理の観点から、ムダムリを省き、短時間で確実に対処するために、界面活性剤である第4級アンモニウム塩を主成分とする「マイクロジッド」やマイクロファイバークロス「トレシー」を用います(写真2、3)。また、使用済み器材は速やかに洗浄・滅菌をして再使用に備えます。汚染された器材に対しては、最初に行うべきは「洗浄」であり「消毒」ではありません。「質の良い滅菌」のためには、蛋白質分解酵素入り洗剤「ウルトラクレンザイム」を計量・希釈して洗浄します。ただし、洗浄時には汚染物が器材に付着しており、探針やスケーラーなどのシャープな器材で針刺しや切創事故を起こさないために、ユーティリティグローブのような厚手のグローブを用いましょう(写真4)。ゴム製のグローブですが、耐熱温度が高いため、その日の最後に滅菌器を稼働させる際には、器材とともに滅菌することが可能です。洗浄と熱水による消毒を行うことができるウォッシャー・ディズインフェクターを使用することで、作業者の針刺し事故を防ぐことができます。その後、ハンドピースや観孔処置用器材というような、滅菌対象物合わせ滅菌器を用いて効率よく確実に滅菌します(写真5)。

感染予防は関係者全員でゴールを目指していかなければなりません。まずは自分たちが置かれている現状を認識し、小さな目標「スモールステップ」を設定します。患者さんに行動変容を促すことと同じやり方ですね。そして取り組むべき事柄に優先順位をつけ、科学的裏付けのある情報を活用して、一つ一つを積み上げていきます。2月のセミナーでは、日常的に用いているマスクやグローブ等「個人防護具の適正利用」やオートクレーブにのいるとなぜ滅菌ができるのかという「高圧蒸気滅菌法の原理」について、「へえ〜、そうだったんだあ〜と納得していただけるように解説させていただきます。ぜひスタッフの皆様でご参加ください。

写真1 個人防護具としてのゴーグルへの飛沫付着



写真2 マイクロファイバークロスを用いた清掃



写真3 界面活性剤含有のワイプ材



写真4 厚手のグローブで針刺し防止

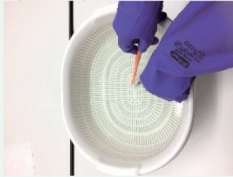


写真5 ウォッシャー・ディズインフェクターと加圧脱気式滅菌器



メタセコイア並木 (滋賀県)

新春のご挨拶を申し上げます

令和の二年目は凄まじい年となりました。コロナ渦で経済は大きなマイナスとなりましたが、リモートワークやライブ配信など新しい価値観が定着し、働き方も大きく変わりました。また、日本では安倍政権から菅政権へ。米国ではトランプ政権からバイデン政権へ。大きな変化を乗り越え、今年是一年延期された東京オリンピックの成功と世界の平穏を祈り年始のご挨拶とさせていただきます。今年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。今号は柏井伸子先生にお願ひ「年のはじめに考えたい「感染予防の必要性」と題して掲載して頂きました。大切な患者様やスタッフ様の命を守りたいという先生方の思いが、より良い対策につながりますように願ひ、今後とも少しでもその支えになればと思っております。2月には「ここから始める感染管理」と題し同じく柏井先生からのZOOMを使用したWEBセミナーを開催いたしますので奮つてのご参加をお待ちしています。

株式会社 中央歯科産業 代表取締役 中原大介 社員一同

名古屋市北区鳩岡二丁目3番15号 〒462-0024
 TEL 052-914-6841 (代) FAX 052-914-6898

● 本店 (北区) ● 南店 (緑区) ● みかわ店 (岡崎市) ● 岐阜店 (岐阜市)